

今回は、1年生のオンラインセミナー 第18回 の報告です。

◇ オンラインセミナー「関ジモト大学online」

今年度は、例年夏休みに行っているフィールドワークに代わって、オンラインセミナーを実施しました。関市で活躍する「せき・まちづくりNPOぶうめらん」が主催する「関ジモト大学online」の場をお借りして、関市内の27企業と生徒が意見交換を行い、各企業のSDGsに関わる取り組みについての話を聞きました。

各企業と生徒の交流について、第1回から第27回までシリーズで紹介します。

◇ 第18回 社会福祉法人 桜友会

◆ 高齢者福祉／児童福祉

桜友会は関市内で高齢者及び児童のための福祉施設約20施設を運営しています。岐阜県内で唯一「児童心理治療施設 桜学館」も設置しており、高齢者福祉だけでなく児童福祉など総合的な社会福祉事業を行っています。法人の理念である「福祉事業を通じて地域の方々が安心して生活するための支援を、地域の方々と共に行っていく」ために全役職員が日々努力しています。



SDGs

今後の
目標



◆ オンラインセミナー「関ジモト大学 online」に参加した生徒の感想

- ・ 児童心理施設の児童は2～3年で施設を出ることができるとことを知って、それだけ施設の職員の方が子どもに深く関わっていることに驚いた。
- ・ 水害などに備えて避難訓練をしていることに感心した。2階以上に避難するために、高齢者の方々を担いで訓練をしていることがわかった。
- ・ 児童の成長はすさまじく、やればやるだけ変わっていくということに驚いた。人の成長を見ることがやりがいとなることに感心した。
- ・ 高齢者施設で働いている人も、児童福祉施設で働いている人も、桜友会を利用している方たちのことを思って行動し、利用者の方が安心して過ごせるように心がけていてすごいと思いました。高齢者の方は子どもと交流するときに、すごく楽しそうで、笑顔になることがいいと思いました。
- ・ 仕事をしていて辛いことという質問に対して、高齢者福祉施設の方も児童福祉施設の方も、あまりないと答えていて、むしろ嬉しいことの方が多く話されていて、辛いことよりも仕事に対してのやりがいの方が大きくて、素晴らしいなと思いました。
- ・ 「安心できる場所、人だと思ってもらえるような関わり」をしていることに感心しました。子どもたちと関わる中で大切にしていることは、「育ち」を理解してあげることで、苦しみや悲しみを受け止めてあげることだという話がすごく心に残りました。
- ・ 施設の中で看取り、亡くなるときに立ち会うこと。それも貴重な経験として成長につながるという話が印象的だった。